

「機械学習を用いたCT画像による外傷治療戦略アルゴリズムの構築」

1. 研究の対象

2007年8月1日から2022年3月31日に大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センターへ入院された重症外傷の方

2. 研究目的・方法

「目的」機械学習技術を用いて外傷初期診療の質の向上を図ること

「方法」機械学習アルゴリズムを作成し、その予測精度を検証する

「研究期間」2019年1月9日～2024年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、受傷機転、意識レベル、瞳孔径、対光反射の有無、収縮期血圧、脈拍、呼吸数、CT所見、施行された手術、病院入退院日、ICU退室日、ICU転帰、院内転帰、人工呼吸器装着日数、28日死亡、退院日ADL、輸血量、入院治療費、外傷診療に用いた画像データ（レントゲン、CT、MRIなど）

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

1. 大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 責任医師 藤見 聡

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター救急診療科

研究担当者：救急診療科 岡田 直己

電話 06-6692-1201 内線 7160